

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有	
スポーツ科学部	教授	土屋 裕睦			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
(学部) スポーツ心理学、スポーツカウンセリング、スポーツメンタルトレーニング指導論、スポーツ心理学実験実習		1999年4月～現在	授業にあたっては、①視聴覚機材の活用、②対話のある授業の推進、③オフィスアワーと教員連絡先(メールアドレス)の明示に努め、学生による授業評価では、いずれの授業も学内平均よりも高い評価を得ている。		
(大学院) スポーツカウンセリング論特論・特論演習、スポーツカウンセリング特講・特講演習、スポーツ科学研究論特講、スポーツ心理学実践論特論		2014年4月～現在	講義及び演習に際しては、修士課程では高度職業人養成、博士課程では研究者養成を念頭に、より実践的な知識・技能が身に付くよう、教員自身の研修経験や臨床事例を開示して体験的理解を深めるよう工夫している。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
「インターンシップ実習マニュアル」		1999年4月～2018年3月	インターンシップBの講義・実習用のテキストとして作成した。		
「これから学ぶスポーツ心理学」		2014年4月～現在	スポーツ心理学テキストとして大修館書房より上梓した(荒木雅信編著)		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
日本体育協会スポーツドクター養成講習会、日本体育協会公認指導者養成講習会、障害者スポーツ指導者養成講習会、		2014年4月～2018年3月	スポーツカウンセリングやメンタルトレーニング指導等のスポーツ心理学関連のテーマについて、教育実践に関する発表、講演を行った。		
日本スポーツ協会コーチデベロッパー養成講習会担当コーチトレーナー、共通科目Ⅱ・Ⅲコーチデベロッパー		2019年4月～現在	日本スポーツ協会が主催するコーチデベロッパー養成講習会の講師(コーチトレーナー)を担当した。		
和歌山県・大阪府、その他教育委員会主催の教員研修会、ならびにいじめ・不登校問題研修会、他		2014年4月～現在	育てるカウンセリングや教師だからこそできるカウンセリングのテーマについて、教育実践に関する発表、講演を行った。		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルームにて心理カウンセラー		2014年4月～現在	大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルームにて心理カウンセラー(金曜日)を担当		
日本体育協会モデルコアカリキュラムに準拠した「運動部指導実践論」を新規開講した。		2016年4月～現在	スポーツ庁からの受託事業として「運動部指導実践論」を新規開講し、体罰を用いないスポーツ指導者の育成を行った。		
II 研究活動					
著書(単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書(共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
公認心理師の資格をもつガイダンスカウンセラーの実践：体育・スポーツ領域における心理支援/指導と評価、	土屋裕睦		図書文化	東京	平成30年8月
グッドコーチになるためのココロエ、	平野 裕一・土屋裕睦・荒井弘和(編著)	1頁～223頁	培風館	東京	平成30年〇月
スポーツカウンセリング/これから学ぶスポーツ心理学改訂版	土屋裕睦/荒木雅信(編著)	98頁～107頁	大修館書店	東京	平成29年〇月
生徒の悩みに向き合うスポーツカウンセリング/運動部活動の理論と実践	土屋裕睦/友添秀則(編著)	149頁～158頁	大修館書店	東京	平成28年〇月
2章5メンタルトレーニング実施後の振り返り、4章6イメージ技法、5章5チームワーク向上のトレーニング、7章1スポーツメンタルトレーニング指導士の資格認定制度について/スポーツメンタルトレーニング教本三訂版	土屋裕睦/日本スポーツ心理学会(編)	44-48、103-107、146-150、207-217	大修館書店	東京	平成28年〇月
チームビルディング/スポーツ・運動・パフォーマンスの心理学	土屋裕睦/高見和至(編著)	187頁～200頁	化学同人	東京	平成28年〇月
大学運動部におけるスポーツカウンセリング/スポーツカウンセリングの現場から ―アスリートがカウンセリングを受けるとき―	土屋裕睦/中込 四郎・鈴木 壯(編著)	139頁～158頁	道和本院	東京	平成27年〇月
構成的グループエンカウンター応用の教育カウンセラー標準テキスト上級編	土屋裕睦/日本教育カウンセラー協会(編)	86頁～93頁	図書文化	東京	平成26年〇月
スポーツ臨床と動機づけ/スポーツモチベーション	土屋裕睦/西田保(編著)	187頁～222頁	大修館書店	東京	平成26年〇月
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
環境移行期にいる大学新入生アスリートの適応過程に関する質的研究、	富永 哲志、金田 大樹、横山 慎太朗、酒井 優和子、石居 宜子、土屋 裕睦	大阪体育学研究、	第 59 巻	1頁～13頁	平成31年〇月
女性アスリートが抱える心理的課題の抽出―女性エリート選手への心理サポートプログラム開発へ向けた取り組み―、	實宝希祥、奥野真由、片上絵梨子、近藤みどり、清水聖志人、土屋裕睦	Journal of High Performance Sport 4	18巻1号	42頁～49頁	平成31年〇月

Correlations among focusing attitudes, psychological competitive abilities and public self-consciousness in college athletes.	中村 珍晴, 土屋 裕睦, 宅 香菜子	Person-Centered & Experiential Psychotherapies,	18巻1号	85頁～97頁	平成30年〇月
スポーツ傷害に特化した心的外傷後成長の特徴.	中村 珍晴, 土屋 裕睦, 宅 香菜子	体育学研究	63巻	291頁～304頁	平成30年〇月
大学新入運動部員はスポーツ心理学の教育プログラムをどのように体験するのかわ女子サッカー部を対象として.	富永哲志・中村珍晴・相川昌巳・石居直子・土屋裕睦	大阪体育大学紀要	49巻	29頁～37頁	平成30年〇月
円皮鍼およびプラセボ円皮鍼が夏季強化合宿期間における大学ラグビー選手の心理的コンディションに及ぼす影響	辰見 康剛, 八板 昭仁, 栗谷 健礼, 土屋 裕睦	理学療法科学	32 巻6 号	875頁～879頁	平成29年〇月
過去経験が集团的効力感に及ぼす影響— 成員の道具性に着目した検討—	内田 遼介, 釘原 直樹, 東 亜弓, 土屋 裕睦	心理学研究	88 巻3 号	219頁～229頁	平成29年〇月
海外派遣サッカー指導におけるコーチング環境の実態調査：FIFAランキングによる比較から	松山 博明, 関口 潔, 土屋 裕睦	スポーツ産業学研究	27(1)	49頁～56頁	平成29年〇月
Effects of Received Social Support on Athletes' psychological well-being.	Eriko Katagami, Hironobu Tsuchiya	International Journal of Sport and Health Science.	15 巻	72頁-80頁	平成29年〇月
Effect of Japanese Training Camps on Life Skills Acquisition to Nurture Intelligent Wrestlers	Seshito Shimizu, Kohei Shimamoto, Takashi Kawano, Takeshi Kukidome, Hironobu Tsuchiya	Psychology	Vol. 8 No. 4,	576頁-589頁	平成29年〇月
大学生男子サッカー部員によるチームのまとまりを感じる体験の探索.	筒井 香, 土屋 裕睦	スポーツ産業学研究	26(1)	143頁-150頁	平成28年〇月
スポーツ集団の心理状態を評価する枠組みの提案：集团的効力感と集団凝集性による 2 次元アプローチ.	小林 未季代, 内田 遼介, 土屋 裕睦	体育学研究	61(1)	245頁-255頁	平成28年〇月
大学生におけるライフスキルに関する中国と日本の国際比較—中国語版日常生活スキル尺度の作成—	陳 昱龍, 土屋 裕睦	スポーツ産業学研究	26(1)	1 頁～ 1 1 頁	平成28年〇月
スポーツ集団内における集团的効力感の評価形成過程：成員の課題遂行能力に着目した検討.	内田 遼介, 釘原 直樹, 手塚 洋介, 國部 雅大, 土屋 裕睦	実験社会心理学研究	56(1)	33頁-43頁	平成28年〇月
大学生トップアスリートの卒業後における雇用状態とライフスキルの関連：卒業後4年間に渡る縦断調査の結果より	清水 聖志人, 島本 好平, 久木留 毅, 土屋 裕睦	スポーツ産業学研究	26(2)	303頁-313頁	平成28年〇月
Effects of Social Support on Athletes' Psychological Well-Being: The Correlations among Received Support, Perceived Support, and Personality.	Eriko Katagami, Hironobu Tsuchiya	Psychology	Vol. 7 No. 13	1741頁-1752頁	平成28年〇月
The Relationship between the Motivation for Physical Activity and Life Skills among Chinese and Japanese College Students.	Yulong Chen, Hironobu Tsuchiya	Advances in Physical Education	Vol. 6 No. 4,	283頁-291頁	平成28年〇月
The Effects of Trait Rumination and Reflection on Mental Health among Japanese University Athletes. Psychology	Shohei Yamakoshi and Hironobu Tsuchiya	Psychology	Vol. 7	533頁-540頁	平成28年〇月
Competitiveness of Young Football Players in the Japan Football Association Social Action Program.	Hiroaki Matsuyama, Takahiro Matsutake, Hiroyuki Horino and Hironobu Tsuchiya	Advances in Physical Education	Vol. 5	94頁-102頁	平成27年〇月
運動部指導のためのコアカリキュラムの開発と新たな指導者資格制度の検討. 体罰・暴力根絶のための提案	土屋 裕睦	体育学研究	Vol. 60	1頁-6頁	平成27年〇月
海外スポーツ指導者派遣事業の現状と課題—アジア貢献事業プータン王国サッカーU-19アジア選手権の実践活動を中心に—.	松山博明, 土屋裕睦	スポーツ産業学研究	Vol. 25, No. 1	111頁-122頁	平成27年〇月
The Relationships between Life Skills and Post-graduation Employment for Top College Student Wrestlers in Japan	Seshito Shimizu, Kohei Shimamoto and Hironobu Tsuchiya	International Journal of Sport and Health Science	Vol. 13	17頁-22頁	平成27年〇月
スポーツ集团的効力感尺度の改訂・邦訳と構成概念妥当性の検討	内田 遼介, 町田 萌, 土屋 裕睦, 釘原 直樹	体育学研究	59-2.	841頁-854頁	平成26年〇月
海外スポーツ指導者派遣事業の現状と課題—JFAアジア貢献事業プータン王国サッカーの実践活動を中心に—.	松山博明, 土屋裕睦, 堀野博幸, 須田芳正	大阪体育学研究	Vol. 52	15頁-22頁	平成26年〇月
総説					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
わが国のスポーツ心理学の現状と課題.	土屋裕睦	心身医学	58 巻2 号	159頁-165頁	平成29年〇月
学び続ける指導者を育てる「コーチング・イノベーション」	土屋裕睦	コーチング・クリニック	5月号		平成27年〇月
コーチング・イノベーションの促進.	土屋裕睦	体育の科学	66巻3号	178頁-186頁	平成26年〇月
日本代表チームに対する心理サポートの実践：その現状と課題.	土屋裕睦	スポーツ精神医学	Vol. 11	19頁-26頁	平成26年〇月
スポーツ指導における暴力根絶に向けて—ストレスマネジメント教育への期待— 特集教育現場における「いじめ」と「体罰」の問題.	土屋裕睦	ストレスマネジメント研究	Vol. 10, No. 2	21頁-29頁	平成26年〇月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）							
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）							
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名		
科学研究費等の取得状況							
科学研究費／その他の助成金／外部資金							
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）		
科学研究費	基盤研究C	スポーツチームの心理状態を可視化する：実力発揮の予測ならびに支援ツールの開発	代表	平成26年度～平成30年度	4,810,000円		
その他の助成金	スポーツ庁受託事業	「スポーツキャリアサポート戦略」における「コーチとしてのキャリア形成支援プログラム」	代表	平成28年度	2,450,225円		
その他の助成金	スポーツ庁受託事業	女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究」	代表	平成29年度	10,469,739円		
その他の助成金	スポーツ庁受託事業	女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究」	代表	平成30年度	13,791,976円		
特許							
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国	
Ⅲ 加入学会および社会における活動							
期 間	内 容						
加入学会							
平成28年4月～現在	日本体育学会理事、平成30年度より研究領域検討委員会委員						
平成25年4月～現在	日本体育学会体育心理専門領域理事						
平成25年4月～現在	日本スポーツ心理学会理事・資格委員長、令和元年より副会長						
平成25年4月～現在	大阪体育学会理事						
平成25年4月～現在	日本教育カウンセラー協会評議員						
社会的活動							
平成25年4月～現在	日本オリンピック委員会（JOC）科学サポート部門員、令和元年4月～アントラージュ部会委員						
平成28年4月～現在	大阪市部活動のあり方に関する有識者会議 有識者会議委員						
平成29年4月～現在	熊取町教育委員						
平成30年4月～現在	尼崎市体罰根絶に向けた有識者会議 有識者会議委員						
Ⅳ 管理活動							
期 間	内 容						
委員会活動							
平成26年4月～平成30年3月	カリキュラム委員会委員長						
平成28年4月～現在	学長補佐						
特別プロジェクト活動							
Ⅴ クラブ活動の指導業績							
1. 指導クラブ名	なぎなた部・剣道部		2. 役職	なぎなた部部長・剣道部コーチ		3. 部員数	5 人
4. 現場指導の頻度	② ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない						
5. 合宿指導	年間合宿回数： 2 回		延べ日数： 7 日				
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない						
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない						
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない						
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間		場 所		
	全日本学生なぎなた選手権大会		8月		三重県		
	西日本学生なぎなた選手権大会		2月		大阪府		

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
平成29年8月6日	第56回全日本学生なぎなた選手権大会	演技の部優勝	三重県津市芸濃町総合文化センターアリーナ
平成30年8月12日	第57回全日本学生なぎなた選手権大会	演技の部優勝(2連覇)	埼玉県入間市市民体育館
令和1年8月11日	第58回全日本学生なぎなた選手権大会	演技の部優勝(3連覇)	埼玉県入間市市民体育館

VI 賞罰(職務に関する賞罰)

年月	受賞等機関名	内容	備考